

みらい通信

第28号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
URL <http://www.shiwa-mirai.com>
発行日 平成20年3月12日

理事長あいさつ

2月14日、21日（木曜 14時～17時）環境・循環PRセンター 参加者 延べ24人
協力 紫波町ごみ減量女性会議

全国でレジ袋削減の運動が広がっています。2月のエコスクールはレジ袋の代わりにふろしきを使おう！ということでふろしきの包み方を練習しました。

紫波町ごみ減量女性会議の方々に、ペットボトルやおみやげを持っていくときの包み方、お買い物袋の作り方などいろいろな使い方を教えてもらいました。

ふろしきはコンパクトにたんで持ち運べるので、マイバッグに入りきらないほどの買い物をしたときなど、皆さんも利用してみませんか！



とても簡単なふろしきバッグ



どうやって包むのかな～？

エコスクールこれからの予定

4月 なつかしい昔のあそび

6日（木）、13日（木）、27日（木）
午後3時～5時

最近ではあまり遊ばなくなったお手玉、あやとり、おはじき、めんこ、福笑いなどであそんでみませんか！



4月 牛乳パックで楽しい工作

17日（木）、24日（木）
午後3時～5時

牛乳パック（1リットル）を使って、簡単で楽しいおもちゃを作ります。

牛乳パックやジュースの紙パックがある人は、きれいに洗い、乾かしてお持ちください！

また、スタッフとしての参加もお待ちしています！



残したい環境ってどんなもの？ 2月定例会報告

2月13日（水） 参加者6人

紫波みらい研究所は「紫波の環境を百年後の子どもたちによりよい姿で残しつつ伝えていく」という理念のもとに活動しています。

百年後の子供たちに…とはいうものの、具体的にはどんなものだろう、会員はそれを知っているだろうか？ということを確認するために意見を出し合いました。

紫波町の豊かな自然の中で育った農産物を食べてもらいたい、きれいな水を残したい。そのためにも町民に紫波の食べ物や環境を知ってもらう、みらい研究所だけではできないことを他の団体と協力していく、などなど…。

みらい研究所の活動はなかなか成果が目に見えるものではないと思います。それこそ、百年後にならないとわからないかもしれません。ですが、会員が楽しみながら少しずつ前に進んで行けたらと思います。もっと多くの会員のご参加お待ちしております！

4月定例会予定

日時 4月9日（水） 18時30分

場所 紫波町環境・循環PRセンター

4月の定例会のテーマは

◎みらい研の畑について

紫波中央駅前の農地を貸していただくことになりました。

どんな風に活動するのか、何を育てるのかなどを話し合います。



事務局からのお知らせ

こんにちは。会員の笹井です。

このたび、みらい研究所のブログを作りました。

ブログとは、インターネットで見れる日記のことです。

事務局からの情報をもっとタイムリーにお伝えしたいと思い、ホームページからブログへと移行することにしました。

携帯電話からも見ることが出来ますので、皆さんお気軽に遊びに来てください。

また、ブログに書く記事も随時募集中です。

手書きでかまいませんので、よろしくお願いします。